

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 城南観光株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		お客様が捨てた物も含め社内から出た全ての廃棄物の処理は廃棄物処理業者に依頼をしており、然るべき処理を行っている。コース管理部においても環境に配慮した薬剤を使用している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		毎月の電力使用量やガソリン、ガス使用量を把握し、その結果を従業員に周知し各々が冷暖房の調節、小まめな節電やクールビズ及びウォームビズ活用等エネルギー削減に努めている。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		原油換算エネルギー使用量305kl、CO2排出量559。温室効果ガスの排出量を削減出来るように日頃より社員不在時の消灯の徹底、節電、クールビズウォームビズでの適正室温、館内照明のLED化を行っている。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		日々コース内の整備を行っているが、資材は生態系に及ぼす影響を考慮し生物多様性の保全と持続可能な利用に配慮したものを調達し、お客様のプレー進行に影響を与えるもののみ整備を行っており、環境に配慮して業務を遂行している。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		耐久性の高い商品の使用や従業員へのエコバッグの活用推奨に加え、複合機トナーをはじめ回収・リサイクルに努めている。社内使用する書類に関してペーパーレス化を進め、裏紙を利用するよう促進している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		お客様が使用する洗面所での節水を注意喚起している他、従業員に対しても節水を行うよう周知徹底を行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.a						11.5			14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		23年1月よりエコマークや省エネ性マーク等が付いた商品を積極的に購入し、使用に取り組む予定である。										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		企業グループでフードドライブ活動を行っており、従業員より募った食料を子ども食堂へ寄付している。	1	2					6.4							12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		コース内を整備する際には緑の保全管理に注意し、必要なもの以外は伐採しないよう心掛けている。													11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		コース管理業務において、樹木の適切な伐採や芝の育成を行っている。							6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		グループ企業が行っている阿蘇湯の谷の一万坪のホテル跡地を森へ蘇生させるプロジェクトに従業員も積極的に参加して活動を行っている。							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		敷地内に電気自動車充電器を4台設置しており、お客様従業員へ環境にやさしい自動車の使用を促進している。またグループ企業が取扱っている電気自動車を従業員が購入する際は割引を行っており、電気自動車の使用を促進している。											9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

